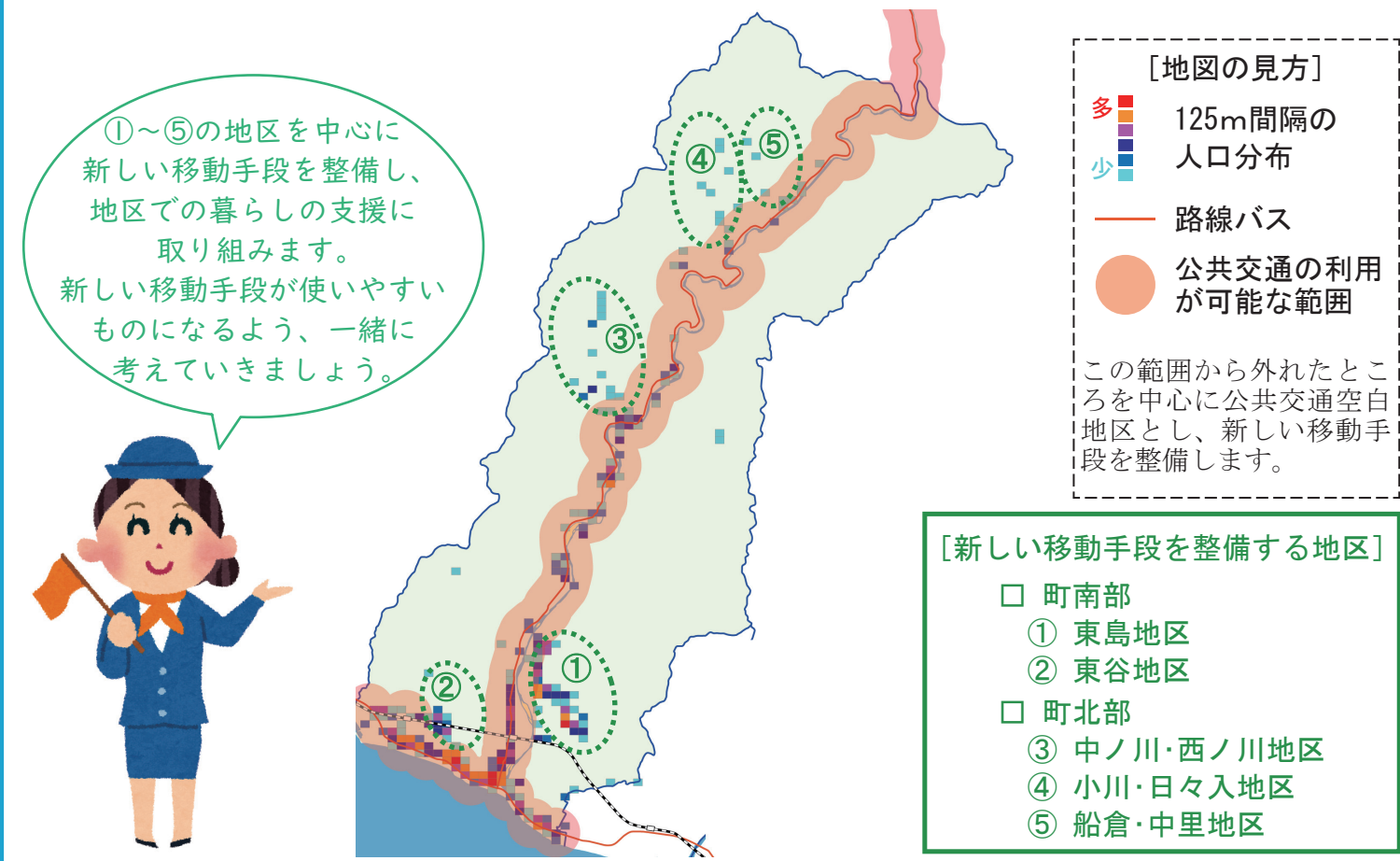


たとえば・・・新しい移動手段を整備します！

この計画の中でも、特に重要な取り組みと言えるのが、“公共交通空白地区の解消”です。
2019 年度後半での実証運行開始を目標に、具体的な検討をスタートします。



■ 計画の期間

2019 年（平成 31 年）4 月～ 2024 年 3 月までの 5 年間を計画の期間とし、様々な取り組みを進めます。

生活に移動は必須です。住み慣れた場所で、安心して暮らしを続けられるように車を利用できる人も、元気なうちに公共交通利用の練習をしておきましょう。



安田町地域公共交通網形成計画 [概要版]
2019 年（平成 31 年）3 月
計画の全体版は、安田町ホームページ
<http://www.town.yasuda.kochi.jp/home.html> をご覧ください。
編集 安田町役場地域創生課
〒781-6421 高知県安芸郡安田町安田 1850 番地
電話 0887-38-6713 FAX 0887-38-6780

安田町地域公共交通網形成計画ができました！

■ 地域公共交通網形成計画とは

地域公共交通の現状と課題を整理し、地域全体の公共交通のあり方や、住民・交通事業者・行政の役割を定め、生活を支える移動を、“まちづくり”の視点とも関連させながら策定する計画です。

■ 策定の目的



安田町では、買い物やお出かけなどの移動は、自動車に依存せざるを得なくなっている現状があります。一方で、少子高齢化の進行により移動が困難な高齢者等が増加傾向にあり、日常生活に支障をきたしている例が見受けられます。

このような状況を踏まえ、安田町として新たな公共交通網の整備に向けて、住民ニーズ調査、町内の関係団体や地域の方々との意見交換等に取り組んで来ました。

日常の移動だけでなく、まちづくり、観光、更には健康、福祉、教育等の“多目的に利用できる地域公共交通ネットワーク”、“まちづくりと一体となった面的な公共交通ネットワーク”、そして“持続可能な地域公共交通ネットワーク”の構築などに取り組み、自動車がなくても安心して生活が続けられる町となることを目指して取り組むために策定しました。

■ 目指す将来像と取り組みの基本方針

安田町の移動手段確保に関する課題や、関連する上位計画などを整理し、目指すべき将来像と、その実現に向けた取り組みの基本方針を次のとおり設定しました。

基本方針 1：地域の実情に合った公共交通網の整備

全ての安田町民が、生活に必要な移動手段（公共交通や福祉輸送等）を使い、自動車を運転できなくても生活が続けられる環境構築を目指します。

基本方針 2：公共交通網の持続と利用促進

既存の路線バスや鉄道、そして新しく整備する移動手段などが持続して運行できるように、利用者のニーズを反映し、わかりやすく便利だと感じてもらえるようにします。また、地域住民も積極的に公共交通網に関わっていただける仕組みの構築を目指します。

基本方針 3：まちづくりとの連携

移動の目的となる観光、福祉、教育などとの連携を通じて、公共交通の利用促進につなげるとともに、人のながれを町中心部に誘導することによる賑わいの創出を目指します。

基本方針 4：広域で共有する移動手段とまちづくり

中芸地域の自治体は、ひとつの生活圏を共有していることから、相互に町を行き来できる路線網の構築や、サービスや情報などのソフト面における連携を強化し、地域全体の活性化を目指します。

目指す将来像

誰もが「自動車に頼らずとも生活を持続できる町」を実現させるため、自分の意思で移動でき、地域の実情・町民の移動ニーズに合った生活交通サービスの構築を実現する。
また、公共交通網の充実による町民同士の交流、町外との交流人口の拡大を通じた地域の活性化にもつなげる。

■ 住民が関わる具体的な取り組み

安田町の“目指す将来像”を実現させるために、基本方針にしたがって具体的な取り組みをまとめました。その中から、町民の皆さんにも関わっていただく具体的な取り組みをここに整理します。

安田町にお住まいの皆さんの将来に備える取り組みでもあります。一緒に考え、一緒に取り組んでくださいますようお願いします。



今、自動車を運転している方でも、いつまでも乗れるわけではなく、突然乗れなくなる可能性もあります。自分の意思で移動できるかどうかで、生活の質は大きく変わってきますので、そのときへの備えはとても重要です。日頃から鉄道やバスを利用する余裕は、その備えにもつながります。



公共による移動手段を整備します 1-①: 公共交通空白地区の解消 1-②: 福祉輸送の整備 自家用車を運転できなくても、公共の移動手段により生活を維持できる環境を整備します。 町南部の東島地区、東谷地区、町北部の中ノ川地区、西ノ川地区、小川地区、日々入地区、中里地区、船倉地区の各地区に、新しい移動手段を整備します。 また、介助があれば移動できる人のための福祉輸送による移動手段を整備します。 町民の役割 - 地区の要望や意見、現状における不満などを提示し、移動ニーズの把握、整理に協力する。 - 運行開始後、利用した上でより良くするために意見する。	既存の公共交通を使いやすくします 1-③: 運行ダイヤの検証と改善 1-④: 待ち合い所の快適性向上 安田町の全ての公共交通（鉄道、路線バス、タクシー）、そして新しい移動手段も含めて、駅やバス停、運行ダイヤ、運賃や情報、サービスなどでつながり、誰もが便利さを実感できるように、各事業者に提言します。 また、駅やバス停の環境改善につなげ、バスを快適に待てる環境づくりの取り組みを進めます。 町民の役割 - 地区の要望や意見、現状における不満などを伝え、移動ニーズの把握、整理に協力する。 - 公共交通網を積極的に利用する。	バス利用者の安全を確保します 1-⑤: バス利用者の安全性向上 交通量が多く、道路の横断が非常に危険な状況となっている国道 55 号沿線のバス停について、利用者の安全確保につなげるために横断歩道や信号機の設置、注意喚起の取り組み（例：法定外表示によるカラー舗装）等の検討を進めます。 町民の役割 - バス利用時の道路横断時には、十分に安全確認を行う。 - 車やバイクでバス停付近を通行する際には、確実に安全を確認する。	公共交通の利便性を向上します 2-①: 利用しやすい運賃設定 2-②: わかりやすい情報発信 2-⑥: I Cカードですかの普及支援 町内の公共交通網を町民が利用する際には、運賃をこれまでより安くすることや、通学定期に対する町民の負担軽減を検討します。 また、バスに乗り慣れてない人や土地勘のない人も含めて、町内の公共交通が使いやすくなる情報冊子（時刻表）の作成や、I Cカードですかの普及支援などに取り組みます。 町民の役割 積極的に鉄道や路線バス、新しく整備する移動手段を利用する。	皆さんと共に公共交通網を育てます 2-③: 町民との定期的な対話による利用促進 2-⑤: 公共交通利用者の組織化 公共交通の利用促進につなげるためには、公共交通の利用者や地区住民の生の声から地域の現状をしっかりと把握することが必要不可欠です。 町民の皆さんとの意見交換会を開催し、日常生活に必要な移動手段に関するニーズを把握します。また、町民の皆さんと一緒に公共交通網の利用促進に取り組む組織を立ち上げ、定期的な意見交換や利用啓発イベントを行います。 町民の役割 - 地区の要望や意見、現状における不満などを伝え、改善につなげる取り組みに参画する。 - 公共交通網を積極的に利用する。
公共交通を使ったイベントを企画します 2-④: イベントを通じた利用促進 車を使っている人など、鉄道や路線バスを使う機会のない人に対するイベントを通じて、公共交通を体験する機会を創出し、少しずつ公共交通に慣れていただきます。 また、高齢者や地区住民の集まりにおいて公共交通を利用したお出かけイベントを企画するなど、少しずつ利用を通じた気付きを増やします。 町民の役割 - 鉄道やバスを積極的に利用し、車が使えなくなった時に備える。 - 役場と協力してちょっとしたお出かけイベントを企画する。	まちづくりと公共交通を連携させます 3-①: 町内の集客施設との連携による利用促進 3-⑤: 中心部への交通結節点待ち合い所整備 移動の目的となる集客施設と、移動手段のひとつである公共交通を連携させ、移動の効率化に取り組みます。 公共交通での来訪者が特典を得られる仕組みを町内にある集客施設と一緒に検討します。また、来訪者などが中心部での用事を済ませ、帰り便までの時間を快適に過ごせる場所を整備します。 町民の役割 - お買い物や楽しみのために町内へお出かけする。 - お出かけの際には、可能な限り公共交通を使ってみる。	移動制約者をみんなで見守ります 3-③: 移動制約者等の見守り体制構築 定期的に町内を運行している公共交通網の利点を活かし、地域住民の異変を察知し、危険を回避できる体制を構築します。 鉄道、路線バス、タクシー、そして新しく整備する移動手段の乗務員、役場や社会福祉協議会などが連携することで、地域の高齢者や子ども達を見守ります。 町民の役割 異変に気づいた時の声かけや乗務員への通報により、安全確保につなげる。	次世代にも考えてもらいます 3-④: 学校におけるバス乗り方教室の開催 町立の小学校及び中学校において、運行事業者と共にバスの乗り方教室を開催します。 実際の車両を使ったマナー講座やI Cカードですかの利用体験、座学による公共交通の意義などを学ぶ機会を提供します。 町民の役割 - 移動手段について家庭内でも会話する。 - 家族でお出かけをする時に、移動手段について話し合う機会をつくる。	移動手段を広域でも考えます 4-①: 町民の生活圈と整合する路線構築 4-③: 広域連携による地域のアピール 安田町に暮らす人にとっては、田野町や馬路村、安芸市も身近な生活の場となっています。安田町内だけではなく乗り換えることによって町外にも移動できる仕組みを構築します。 また、近隣の自治体との連携により、中芸地域のことを楽しく学び体験できるイベントを企画します。 町民の役割 - 必要に応じて近隣自治体にも公共交通で移動する。 - 地域を知り、魅力を再確認することで、地域での暮らしを見直すきっかけとする。